

## 高久氏、日本医学会長6期目、副会長4人に

その他 2015年6月25日(木)配信橋本佳子 (m3.com編集長)

日本医学会臨時評議員会と日本医学会連合定時総会は6月24日、任期満了に伴う役員選挙を実施し、会長には現職の高久史麿氏が再選された。高久氏は2004年から会長を務めており、6期目。副会長は前期の3人から1人増え4人体制となり、臨床・外科系の門田守人氏（がん研有明病院院長）、基礎の清水孝雄氏（国立国際医療研究センター研究所長）が再選され、臨床・内科系の寺本民生氏（帝京大学臨床研究センター長）、社会の岸玲子氏（北海道大学環境健康科学研究教育センター特任教授）が新たに選ばれた。



日本医学会会長に再選された、高久史麿氏。

日本医学会は、日本医師会の一組織の位置付け。2014年4月、法人格を持つ一般社団法人として、日本医学会連合が発足した。役員は、両団体が共通。日本専門医機構の社員など、法人格が必要な場合には日本医学会連合として活動している。

役員の任期は2年。ただし、前期（2012年4月から）の任期は、2014年の日本医学会連合の発足に伴い、例外的にこの6月までの3年だった。役員選挙は、日本医学会に加盟している123の学会代表者により行う。会長選挙については複数の候補の中から絞りこまれ、最終的には門田氏との決戦投票になった。24日の出席者112人による投票の結果、高久氏が過半数を獲得した。

副会長は、内科系、外科系、基礎、社会から各1人で、計4人。前期までは内科系と外科系が「臨床系」で1人だったため、副会長は3人体制だった。そのほか、理事15人、監事3人も決定した。

### 【日本医学会の新役員体制】

**会長** 高久史麿氏

**副会長** 基礎：清水孝雄氏、社会：岸玲子氏、臨床・内科系：寺本民生氏、臨床・外科系：門田守人氏

**理事** 基礎：成宮周氏、宮園浩平氏、社会：大江和彦氏、遠山千春氏、臨床・内科系：池田康夫氏、小川久雄氏、春日雅人氏、門脇孝氏、小池和彦氏、三嶋理晃氏、臨床・外科系：岩本幸英氏、國土典宏氏、小西郁生氏、高本眞一氏、森正樹氏

**監事** 基礎：奥村康氏、社会：稲葉裕氏、臨床：里見進氏

（出典：医療維新 2015.6.28）